進捗報告

$oldsymbol{1}$ ボーナス関数が最大値をとる使用回数 N を変更し比較

ボーナス関数は (1) 式のように定義される.

$$bonus = \sin(\frac{\pi}{2} \cdot \frac{x}{N}) \tag{1}$$

ここで,x は最良コーディネートスケジュールでの候補アイテムの使用回数,N は sin 関数が 1 をとる使用回数を表す。N の値を変え,結果を比較した。表 1 に結果を示す。N=5 が今まで用いていた値である。結果からわかるように,N をいくら大きくしても 7 回までしか候補アイテムは使用されなかった。図 1 に N=8 にした場合の結果を示す。1 日飛ばして同じアイテムを入れるとペナルティがかかるため,2 日空ける必要がある。それゆえ 21 日間の内に最大で入れるのが 7 回ということである。

表 1: N の変化による候補アイテムの使用回数の変化

N	3	5	8	10
平均スコア	18.02	18.10	18.00	17.95
標準偏差	0.13	0.09	0.09	0.07
平均使用回数	3	4.9	6.6	6.9



図 1: N=8 の場合のコーディネートスケジュール

2 今後やりたいこと

簡易的なアプリでもやっぱり難しいですかね. 元山くんと吉田くんは協力してくれる気満々です.